

「平和な世界の土台となる」

一宮市立浅井中学校 三年 森口凜音 モリぐちりおん

「平和」とはなにか。辞書では平和とは「戦争や紛争がなく、世の中が穏やかな状態にあること」とされています。しかし今現在ウクライナとロシアの戦争をはじめとして多くの地域で戦争、紛争が起こっています。だから今この世界は平和であるとはいえませんが、では私たちには平和な世界をつくるために何をすることができらるのでしょうか。

私は一番に寄付について考えました。寄付をすれば対象となる人や地域を金銭面で支えることが出来ます。戦争、紛争地域で戦う人だけでなく、飢餓や病気に苦しむ人、学校に行けない子供たちなどの力になれます。しかし、私たち中学生はお金をたくさん持つていられるわけではないので、大きな力となることは難しいと感じます。他にもSNSを使った情報発信などもありますが、それによって解決するような簡単な問題なわけがありません。

では、私たちははどうしたらいいのか。私はっ
学んで知ること、考えること、なのではない
かと考えます。中学生の特権は義務教育でい
ろいろな授業を受けられることです。例えば
歴史の授業で過去の戦争についてどうして起
きてしまったのか、どんな被害が起きてしま
ったのかについて知ることができます。実際
私は太平洋戦争の原子爆弾による被害やバト
ム戦争での枯葉剤の使用、十干スによる工
場の人の虐殺などについて学び、どうしたら
良かったのかについても考えることができま
した。私たち中学生がし、かりこのことを胸
に刻んで大人になり、知らない人や次の世代
へと伝えていくことで、これから時代戦争を
二度と起こさない、起こさせない国を作っ
ていけるのではな、いかと思います。そして戦争
を増やさないことで、将来他の国の戦争、紛争
がなくなっ、てい、ったとき、「平和の土台」
を作っ、ていられると思います。

ここまです戦争、紛争のない世界を目指した

めに行きることについて考えてきました。が、私はそれが実現したからといって「平和」にたるとは思っていない。なぜなら多くの人を苦しめる要因がすべてなくなるわけではなく、いからです。仮に日本を世界全体だと考え、みます。日本で戦争、紛争は起こっていない。のびっ平和だ」とみんなが口をそろえて言うでしようか。きっと違うと思います。SNSによる誹謗中傷、いじめ、差別、殺人、傷害など人々を苦しめる要因は残ったままです。

これらは一人一人の心がけによって変えることと、できるものだと思います。私が特に変えていきたいのはSNSによる苦しめです。簡単に情報を見たり発信できるようになったからこそ、マイナスなものも一気に広がります。情報社会に住んでいく私たちは一つ一つの行動に責任を持たないといけません。こういった意識が全ての人に浸透し、小さな苦しみの種がなくなっただけでみんなが笑って生きられる平和な世界となることを願っています。